

# 宮城県業務説明会

## 学校事務

**Miyagi  
Prefectural  
Government**

# 学校事務の仕事

総務・経理等の事務全般（図書事務を含む。）、学校教育や社会教育等に関する教育行政事務

## 配属先

県内の公立小中学校、高等学校、特別支援学校  
（仙台市立の学校を除く）  
本庁各課、教育事務所、県美術館、県図書館 等

# 自己紹介 宮城県出身

H31.3月 県内大学卒業

H31.4月～ 宮城県小牛田農林高等学校

R3.4月～ 加美町立賀美石小学校

R6.4月～ 教育庁総務課調整班

# 志望動機

## なぜ公務員だった？

学生時代の部活動等で県民・地元の人々にとってもお世話になったので少しでも県や社会に貢献したいと考えたため

## なんで学校事務を選んだ？

当時の自分を形成していたほとんどが学校で学んだことだったため、少しでも宮城県の教育（学校）の力となりかったため。

# 担当した仕事

## 教育庁総務課調整班

秘書、各部局、庁内各課及び県議会等との連絡調整、庁内予算を取りまとめている班

### 担当業務

- ・ 知事部局等からの照会の取りまとめ
- ・ 課内の予算・決算
- ・ 表彰

# 大変だったこと

- ・小、中学校では基本的に事務職員が1人配置のため身近に業務を相談できる相手がいなかったこと。
- ・学校と本庁での業務内容が大きく異なっていると感じ、経験や知識がない異動して間もない時期は業務への理解力がなくひとつの業務を処理するだけでも大変だった。

# やりがい、心掛けていること

職場の人と積極的にコミュニケーションをとる。特に学校では教員と一緒に働くため、それぞれの立場からの考え方などもあることから、きちんと会話をしてお互いに理解を深めていくことを心掛けています。

# 働き方・休み方

- ・学校、本庁ともに繁忙期と比較的業務に余裕がある時期があるため、メリハリをつけて働くことができる。
- ・そのため繁忙期以外では、自分の予定に合わせて有休等も取得することも可能。

# 入庁前のイメージとギャップ

- ◆ 入庁前のイメージ
- ◆ 年中パソコンと向き合っている
- ◆ 学校職員以外と関わるのが業務上なさそう
- ◆ 入庁してみたら・・・
- ◆ 事務作業がメインではありますが、学校施設の補修・修繕作業、学校行事への参加など、体を動かす業務はいろいろあります。

# 職場の雰囲気

- ・ 現在、所属している班は通常の業務以外に突発的な業務が多く、速やかな対応が必要になります。そのため班のチームワークを全員が意識して業務に取り組むことができます。
- ・ 学校は児童、生徒がいるため多少賑やかな環境で仕事をすることができます。

# 働いて感じる宮城県職員の魅力

- ・ 県内全域に異動の可能性があり、さまざまな市町村の魅力を感じることができる。
- ・ 地域だけではなく学校や本庁等の教育機関、学校については校種もそれぞれでさまざまな環境で働くことができる。

# 私の公務員試験対策

- ・問題集を繰り返し解く。（過去問や傾向をポイントに）
- ・宮城県（教育）の動向を確認する。
- ・自分の特徴を考える。

# みなさんへのメッセージ

これからの宮城県を担う子供たちを育てる教育現場の一員としてともに働きましょう！

*For the future  
of Miyagi*